

# 早池峰地域で移入植物を駆除

令和3年6月16日(水)「令和3年度 第1回早池峰地域移入植物駆除」が行われました。

駆除対象の移入植物(セイヨウタンポポ、オオバコ、オオハンゴンソウ)は繁殖力が強く、高山植物を駆逐する可能性も高いといわれ、早池峰地域の植生への影響が懸念されています。

当支署でも毎年2回、早池峰地域の高山植物の保護を図るため、移入植物の駆除に参加しています。

支署からの3名をはじめ、関係機関・団体、ボランティアの総勢27名で、県道25号紫波江繋線(河原の坊駐車場から小田越区間)の駐車場と道路沿いに分かれて、1回目の駆除対象植物のセイヨウタンポポとオオバコの駆除作業を行いました。

この日は少し肌寒い気温でしたが、先頭集団の後に続き、山頂へ向けてセイヨウタンポポやオオバコが生えてないか、目をこらしながら歩を進めて行きました。

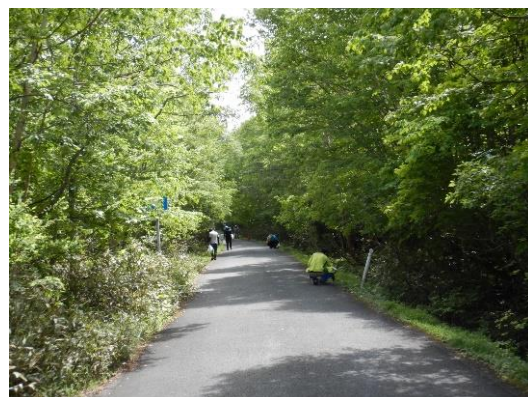
移入植物を発見しては、根っこが残らないように丁寧に駆除していたため、寒さを忘れたあっという間の約2時間でした。

毎年参加している方々から、昨年よりもセイヨウタンポポの数が少ないとの声が聞こえ、こういった丁寧な作業の積み重ねが早池峰山の自然を守っていると強く感じました。

秋には、オオハンゴンソウの駆除があります。興味がありましたら支署までご連絡を。



県南広域振興局保健福祉環境部職員による作業方法の説明



河原の坊駐車場から小田越方面



全体で25kg回収



オオバコ



セイヨウタンポポ



駆除行う当支署長

岩手南部森林管理署遠野支署  
森林整備官 工藤